

平成25年度

# 岡山県立博物館協議会

## 第2回 開催要項

日 時：平成26年3月13日(木) 14:30～16:30  
会 場：岡山県立博物館 「講堂」

### 1 開会

### 2 議題

(1) 平成25年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成26年度事業(案)について

- ア 展覧会
- イ 予 算

(3) 長期展覧会計画(案)について

(4) サービス向上への取組及び中期目標の改訂について

(5) その他

### 3 閉会

(1) 平成25年度事業について

ア 展覧会

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/26)～4/14 春季展(2) 6+12日	古代吉備の世界-考古資料- 分銅形土製品	平安時代の仏像 中世の寺社と信仰 中世の役所と古文書 吉備津彦神社の古文書	☆《特別陳列》ひな人形 近世の絵画～咲き誇る花の絵～	よみがえった備前刀 備前焼名品選 茶陶の美
4/19～5/19 特別展(1) 春季展(3) 31日	米西禪師800回忌記念事業 宋西		五月人形 後楽園の名品	よみがえった備前刀 備前焼名品選 茶陶の美
5/24～6/23 夏季展(1) 31日	古代吉備の世界-考古資料- 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代～備中高松城の水攻め～	☆《特別陳列》 売薬の祖 万代常閑家資料 岡山藩の幕末	日本刀名品選 備前焼 つば・かめ・すりばち
6/25～7/21 夏季展(2) 27日	古代吉備の世界-考古資料- 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代～毛利氏～ 海中の古備前 中世の商品流通	☆《特別陳列》 売薬の祖 万代常閑家資料 岡山藩の幕末	日本刀名品選 備前焼 つば・かめ・すりばち
7/25～9/1 企画展(1) 夏季展(3) 39日	古代吉備の世界-考古資料- 美作の原始古代	美作国建国1300年記念事業 美作の名宝	子育ての道具 岡山の四条派画壇 江戸時代の絵画	備前・備中・美作の刀剣 備前焼 つば・かめ・すりばち
9/5～10/6 秋季展(1) 32日	古代吉備の世界-考古資料- ☆《特別陳列》大地からのたより2013 -果内の発掘調査報告展 ※9/7報告会	岡山の仏像・岡山の宗教家～法然～ 岡山の戦国時代～浦上氏～ 中世の商品流通 木簡	子育ての道具 江戸時代の絵画	備前・備中・美作の刀剣 備前焼の名品
10/11～11/17 特別展(2) 秋季展(2) 38日	郷原赤松復興25周年・備中赤松復興20周年記念事業・瀬戸内国際芸術祭2013関連事業・おかやま教育の日協賛事業 「Japan-漆の世界-」			
11/22～12/23 冬季展(1) 28日	古代吉備の世界-考古資料-	岡山の仏像 木簡 中世商品流通の拡大 小早川秀秋-関ヶ原の戦いの後の岡山-	大名の書画 ☆《特別陳列》おかやま人物事典 平賀元義 絵馬	神に捧げられた刀剣 備前焼の名品
1/1～2/16 交流展 冬季展(2) ※会期中展示替え(1/20) 41日	古代吉備の世界-考古資料-	岡山・高知文化交流事業 生佐の水とくらし -四方十川の漁を中心に-	江戸時代の社寺参詣 大名の書画 十二支屏風 絵馬	神に捧げられた刀剣 ☆《特別陳列》国宝 赤糸威鎧と大刀無銘 -文字「山鳥毛」(1/1～19) 備前焼 細工物の世界
2/20～3/23 春季展(1) 28日	古代吉備の世界-考古資料-	岡山の仏像 岡山の古刹(備前) 海中の古備前 播鉢と壺	雛人形 旅と巡礼 花交の池木樋管 御舟入公開記念池田家関連資料	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼-歴史と「只今」-
3/25～ 春季展(2) 6日	古代吉備の世界-考古資料-	岡山の仏像 岡山の古刹 海中の古備前 播鉢と壺	雛人形 旅と巡礼 花交の池木樋管 御舟入公開記念池田家関連資料	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼-歴史と「只今」-

特別展・企画展自己評価シート

展覧会名		(特)「柴西」					開催期間		平成25年4月19日～5月19日		
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	5,796	達成率(B/A)	58%	収入予算額	1,761千円	実績	1,102千円	
	一般	3,095	65歳以上	1,438	その他	1,263	支出予算額	5,013千円	実績(見込)	4,312千円	
<b>展示の趣旨・目的</b> ・平成26年は柴西800回忌にあたることから、これを記念して、柴西の生涯にスポットをあてた。柴西に関連する様々な資料から、生地である岡山との関わりやその思想、そして柴西をとりまく時代背景について紹介した。											
入館者アンケート								満足度	79%		
<肯定的> ・柴西がどのように岡山と関わり、国内仏教に貢献したか理解できた。 ・柴西についての年表とそれに関する記事、資料を全国から可能な限り集めて展示していること。学術的研究に基づく態度が有り、信頼できる。 ・現在の写真や地図が有り分かりやすかった。											
<否定的> ・文書資料が多いので、見せ方に工夫が欲しい。写真パネルでもいいからもっと多く。 ・仏教関連に特化しすぎて芸術性に欠けた。 ・実績についての時代背景であるとか、同時代的な歴史の流れとか、解るようにして欲しかった。(書いてあるが知識が無いと読み取れない)											
自己評価					工夫・改善点						
①資料調査 早期準備と依頼により、借用希望資料の大部分の承諾が会期半年前までに得られた。多くの寺院・研究者の協力を得て行うことができた。					早期での事前準備の必要。						
②展示 趣旨・目的を十分に検討し、予定通りの展示ができた。					順路を工夫し、キャプションの内容を精選した。						
③関連行事 期間中、講座「柴西」、ワークショップ、更に展示解説を行った。					事前広報を徹底した。						
④広報 通常の広報以外にも、後楽園の柴西茶会と連携し、県内の臨済宗系にチラシを配布し、周知に努めた。					報道機関への働きかけ。ポスター・チラシの有効な配布。						
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 32件 ・図録500冊が完売 (通常400冊作成)											

展覧会名		美作国建国1300年記念事業 企画展「美作の名宝」					開催期間		平成25年7月25日(木) ～9月1日(日)		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	4,119	達成率(B/A)	51%	収入予算額	—	実績	477千円	
	一般	2,637	65歳以上	905	その他	577	支出予算額	—	実績(見込)	1,239千円	
<b>展示の趣旨・目的</b> 美作国の建国1300年を記念して、美作地域にゆかりのある、国や岡山県指定の重要文化財を中心とする優れた文化財を一堂に公開する。この展覧会を通じて、美作地域の文化振興を図るとともに、多くの人々に美作地域の歴史と文化を紹介する。											
入館者アンケート								満足度	80%		
<肯定的> ・美作建国1300年ということで、県南にいとあまりなじみのない県北を知る良い機会になった。 ・美作地方にもすばらしい文化財があることを再確認できた。											
<否定的> ・曼荼羅をもっと近くで見たかった。 ・研究分野である曼荼羅を見に来たが、撤収されていた。ポスター等に明記すべき。											
自己評価					工夫・改善点						
①資料調査 県北のため、一回の調査にかけられる時間が少なく、十分に調査・確認することができない資料もあった。					・同時期に調査する他の展覧会との調整を行い、同じ方面には公用車に同乗するなどの工夫をする。						
②展示 ・名宝展であり、寄せ集め的にはなかったが、小テーマごとに分けて展示し、理解しやすかった。					・展示数がやや多く、狭く感じるコーナーもあったので、いっそう資料を精査する。						
③関連行事 ・新たな取り組みとして、展示室内でスケッチを行った。参加者の反応を見ると博物館利用の幅が広がると感じた。					・所有権等の課題があるが、子どもが参加しやすく、宿題の消化に長期休暇中の展覧会では有効であると思われる。						
④広報 ・全県的に同事業に取り組んでいたため、大きなインパクトを与えることができなかった。					・できる限り事前の情報収集と連絡調整を行い独自性を出せるように展覧会を構成する。						
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 36件 ・県内の資料を選定したが、同じ美作国建国1300年記念事業として同様の展示をする他館と重なることとなり、資料選定に制限がかかってしまった。											

展覧会名		(特)「Japan-漆の世界」					開催期間	平成25年10月11日～11月17日		
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	5,255	達成率(B/A)	53%	収入予算額	2,254千円	実績	1,286千円
	一般	2,735	65歳以上	1,343	その他	1,177	支出予算額	4,720千円	実績	3,678千円
<b>展示の趣旨・目的</b> 郷原漆器復興25周年・備中漆復興20周年を記念して、岡山県と香川県を中心に、原始古代から現代にいたる我が国の漆の世界を各時代の優品で紹介した。										
<b>入館者アンケート</b>								満足度	90%	
<肯定的> ・漆の道具箱の展示がおもしろかった。・12支の印籠の絵がすごく印象に残った。地方の展示としては最高のものではないか。・説明がとても詳しくよくわかった。ルビもありがたい。子ども向けの説明が親切だった。										
<否定的> ・最初のビデオは音が小さすぎて聞こえない。										
<b>自己評価</b>					<b>工夫・改善点</b>					
①資料調査 早期準備と依頼により、借用希望資料のほとんどについて承諾が得られた。					早期の事前準備。展示資料の厳選。					
②資料借用 美術品取扱専門業者と公用車を併用して、計画的・効率的に借用することができた。					借用計画の十分な検討及び文化財の状態把握。					
③展示 趣旨・目的を十分に検討し、ほぼ予定通りの展示ができた。ただし、現状の展示施設では対応できない部分もあった。					展示計画の十分な検討及び展示施設・設備の改善。					
④返却 美術品取扱専門業者と公用車を併用して、計画的・効率的に返却することができた。					返却計画の十分な検討及び文化財の状況把握。					
⑤図録等作成 担当者で分野を分担して執筆し、予定通り刊行できた。					作成計画の十分な検討。					
⑥関連行事 期間中、毎週にわたって記念講演会・特別講座・実演解説・展示解説など、多くの入館者を得た。					事前準備の効率化と予算確保。会場・設備の改善。					
⑦広報 通常の広報以外にも、多くの公的機関・個人にポスターの掲示やチラシの回覧等を依頼し、周知を図った。					関係期間・報道機関への働きかけ。ポスター・チラシの有効な配布。					
<b>【その他】</b> ■報道関係 新聞への掲載回数 30件										

展覧会名		岡山・高知交流事業「土佐の水とくらしー四万十川の漁を中心にー」					開催期間	平成26年1月1日～2月16日		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	6,758	達成率(B/A)	84%	収入予算額	379千円	実績	316千円
	一般	4,653	65歳以上	760	その他	1,345	支出予算額	2,918千円	実績(見込)	2,348千円
<b>展示の趣旨・目的</b> ・高知県の特色ある民俗の中から四万十川の漁を中心として、水に関わる様々な民俗を紹介する。										
<b>入館者アンケート</b>								満足度	70%	
<肯定的> ・海に接した土佐の人たちの生活がよくわかり、楽しい思い出となった。・紙が美しかった。屏風の絵を近くで見れて良かった。・展示物が分かりやすく説明しており、ボランティアの方の説明でより分かりやすかった。										
<否定的> ・四万十の川での漁法をもっと知りたかった。・館内の展示の仕方が見にくく気に入らない。										
<b>自己評価</b>					<b>工夫・改善点</b>					
①資料調査 2年目を民俗担当と決まってから、早めに調査を開始できたので様々なテーマを検討することができた。高知県内の資料館・施設から多くの協力が得られた。					テーマによっては、資料数が多く、やや間延びしたところもあったので、もう少し絞りこんでもよかった。					
②資料借用 借用先との連絡を密に取り、調査段階で資料チェックも行ったので、スムーズに行うことができた。					借用先の日程や長距離移動のため、スケジュールがタイトになったところもあった。					
③展示 民俗資料をより身近にみてもらえる露出展示はよかった。岡山と高知の交流を物語る江戸時代の書状を展示したことは、交流をテーマにした本事業の趣旨を示すことにも興味を持っていただけた。					資料の性質から、展示場所に制限があるものがあつたため、順路がわかりにくくなった。					
④返却 細々した資料が多かったが、確認を十分に行いながら梱包し、事故なく予定通りに返却することができた。										
⑤図録等作成 オリジナルプリントを各カ所の協力を得て作成し、展示会の内容を関係者に紹介することができた。展示を見ながら活用できる地図を掲載したのはよかった。					入館者へ無料配布したが、元日状況のみみて配布してもよかった。					
⑥関連行事 紙漉き体験を一般対象としたのは、ニーズにあっていた。両県のボランティアが展示ガイドを行い、交流できたことも今後につながる成果であった。					記念講演会、体験行事の参加者募集について考えていく必要がある。					
⑦広報 ポスターを配りきれなかった。展覧会内容だけでなく、関連グッズ等の紹介もマスキにしようと思った。					配付してもらうためのセットを多めにつくった。近隣の学校等へは全児童数分を持参し配布した。					
<b>【その他】</b> ■報道関係 元日開館と合わせ山陽新聞や山陽放送で取り上げられた。掲載回数29件										
・海洋堂ホビー館四万十の協力を得て、四国の動物を始めとしたフィギュアのガチャガチャを10台設置したほか、土佐和紙や鯨車など土佐の郷土玩具を販売した。										

イ 教育普及事業

(H25は、2月28日現在)

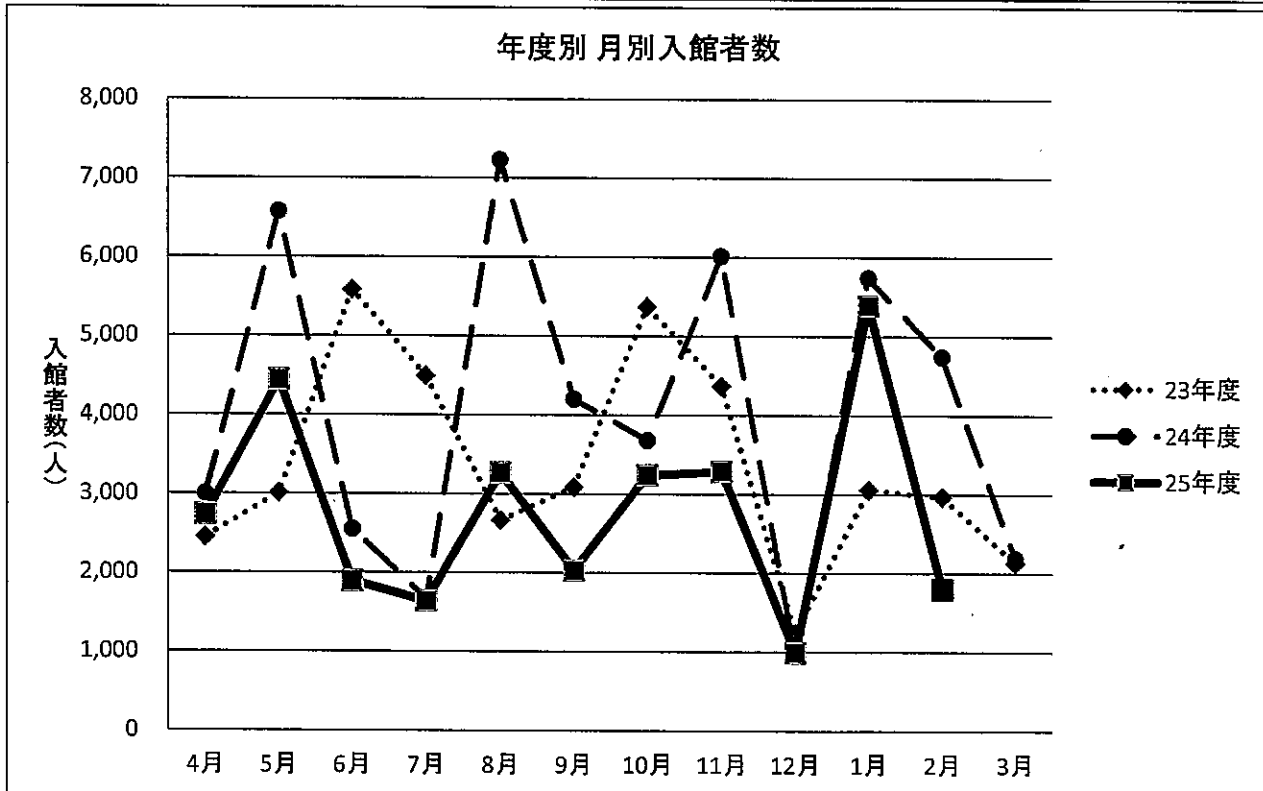
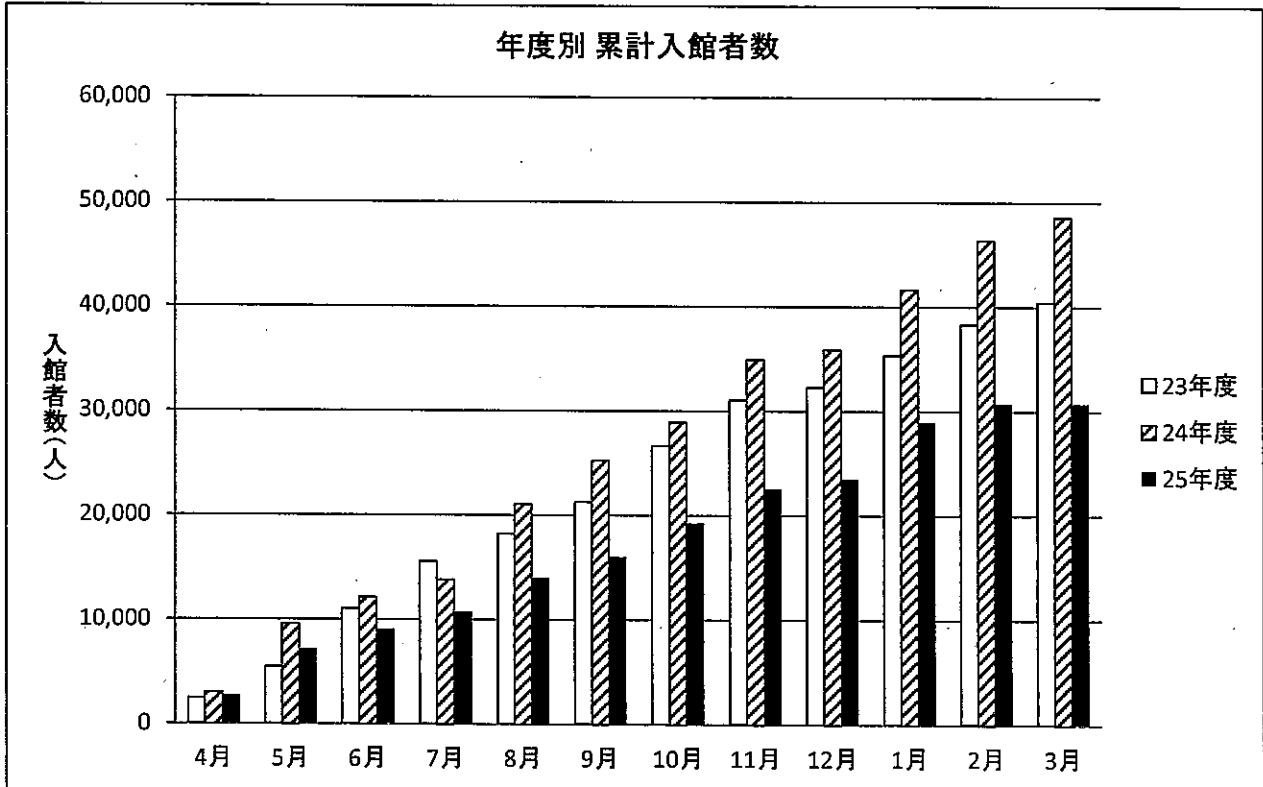
事業名	実績		備考
	H25	H24	
①館内授業・出前授業・探検ツアー			
館内授業	43校、2,570人	50校、2,413人	
出前授業	27校、1,923人	29校、1,961人	
②吉備の国ジュニア歴史スクール	86人	98人	2コース
③ジュニア学芸員講座	19人		25年度新規事業
④博物館講座	スタンダード 110人 スペシャル 108人	スタンダード 110人 スペシャル 77人	
⑤博福連携事業 いきいき講座	1施設 (館内30人)	2施設 (館内20人、出前50人)	
⑥博物館実習	1回、15人	1回、10人	
⑦中学生職場体験	11校、19人	7校、20人	

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2月末現在
23年度	2,455	3,011	5,584	4,496	2,664	3,090	5,373	4,371	1,241	3,057	2,971	2,137	40,450	38,313
24年度	3,005	6,577	2,555	1,671	7,234	4,203	3,684	6,018	955	5,746	4,742	2,194	48,584	46,390
25年度	2,737	4,444	1,898	1,639	3,268	2,033	3,238	3,288	994	5,390	1,800		30,729	30,729

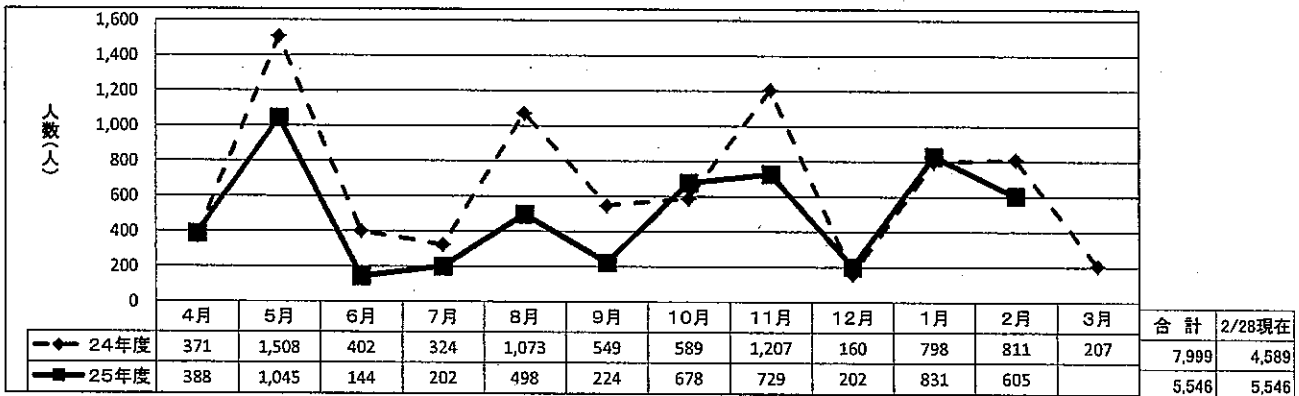


# 展覧会別入館者

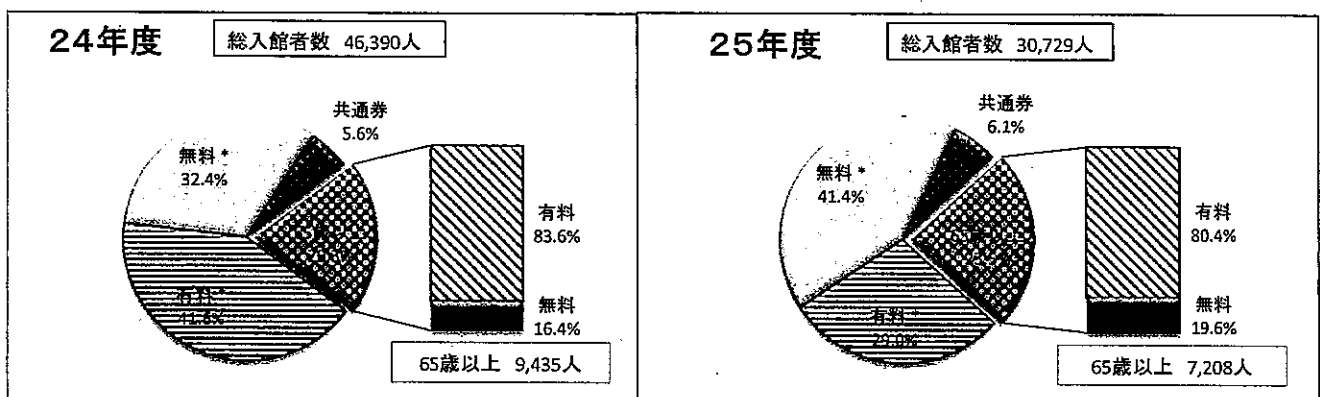
平成26年2月28日現在

展覧会名	目標に対する実績		達成率	入館者の割合			
	目標	実績		一般	65歳以上	高校生以下	
企画展 美作の名宝	目標	8,000人	51.5%	64.0% (一般), 22.0% (65歳以上), 14.0% (高校生以下)			
	実績	4,119人					
特別展	栄西	目標	10,000人	58.0%	53.4% (一般), 24.8% (65歳以上), 21.8% (高校生以下)		
		実績	5,796人				
	japan-漆の世界	目標	10,000人	52.6%	52.0% (一般), 25.6% (65歳以上), 22.4% (高校生以下)		
		実績	5,255人				
交流展 土佐の水とくらし	目標	8,000人	84.5%	68.9% (一般), 11.7% (65歳以上), 19.4% (高校生以下)			
	実績	6,758人					
平常展	目標	14,000人	62.9%	55.2% (一般), 31.4% (65歳以上), 13.4% (高校生以下)			
	実績	8,801人					
計	目標	50,000人	61.5%	58.5% (一般), 23.5% (65歳以上), 18.0% (高校生以下)			
	実績	30,729人					

## 高校生以下の入館状況



## 入館者別割合《各年度とも2月28日現在で比較》



注: 有料\* 無料\* は、65歳以外の入館者をいう。

(2) 平成26年度 事業計画 (案) について

ア 展覧会

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/25)～4/20 春季展(2) 20日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏像 岡山の古刹(備中・美作) 海中の古備前(播鉢と甕)	旅と巡礼 花交の池木樋管 御舟入公開記念池田家関連資料 雛人形	岡山の新刀・新々刀 ☆<特別陳列> 備前焼—歴史と只今—
4/22～5/18 春季展(3) 27日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏像 岡山の宗教家～重源と栄西 中世流通の発達 足利將軍の古文書	近代科学を開いた人々 はこぶ	よみがえった備前刀 保存修理完成記念(重要文化財) ☆<特別陳列>色々威甲冑 備前焼名品選
5/23～6/29 特別展(1) 38日	山田方谷			
7/4～7/27 夏季展(1) 24日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏像 木簡 岡山の荘園 海中の古備前 黒田官兵衛—備中高松城の水攻め—	江戸時代のお金 村や町の古文書 雛型	よみがえった備前刀 ☆<特別陳列>戦国時代の備前焼
7/31～9/7 画展・夏季展(2) 38日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏像 木簡 岡山の荘園 海中の古備前 黒田官兵衛—備中高松城の水攻め—	岡山の城と戦国武将	戦国時代の備前刀 戦国時代の備前焼
9/11～10/5 秋季展(1) 25日	古代吉備の世界 ☆<特別陳列> 大地からの便り	岡山の仏教美術 神と仏 社寺の古文書	岡山の絵図・古地図 洛中洛外図屏風 ☆<特別陳列>錦兜莖	戦国時代の備前刀 徳利・とっくり・トックリ(備前焼)
10/10～11/16 特別展(2)秋季展(2) 38日	池田綱政300回忌記念 護国山曹源寺		後樂園の名品 錦兜莖	神に捧げられた刀剣 徳利・とっくり・トックリ(備前焼)
11/21～12/25 冬季展(1) 35日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏教美術 岡山の宗教家～法然と浄土信仰 中世流通の発達 赤松氏と備前	岡山藩主の書画 江戸時代の社寺参詣 年越しと年迎え	神に捧げられた刀剣 細工物—備前焼— ☆<特別陳列>幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋
1/1～1/12 冬季展(2) 11(12)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏教美術 岡山の宗教家～法然と浄土信仰 中世流通の発達 赤松氏と備前	画人・黒田綾山とその周辺 十二支屏風 江戸時代の社寺参詣 年越しと年迎え	備前・備中・備後の刀剣 ☆<特別陳列>赤韋威鎧 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物—備前焼—
1/16～2/15 流展・冬季展(2) 32日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山・高知文化交流事業 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	画人・黒田綾山とその周辺 十二支屏風 節分	備前・備中・備後の刀剣 幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋 細工物—備前焼—
2/19～3/22 春季展(1) 32日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏教美術 ☆<特別陳列> 安養寺の歴史と文化財 備前の武将 海中の子備前 備前の武符	会陽 岡山の城下町 雛人形	岡山の新刀・新々刀 岡山のやきもの
3/24～(4/ 春季展(2) 27日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の仏教美術 安養寺の歴史と文化財 備前の武将 海中の古備前	桃山絵画の成立 岡山の城下町 岡山藩の兵法 ☆<特別陳列>雛人形	岡山の新刀・新々刀 岡山のやきもの



事業名	特別展 「山田方谷」
期間	平成26年5月23日(金)～6月29日(日)
趣旨	山田方谷は、文化2(1805)年に備中松山藩領西方村(現高梁市)で生まれた。百姓身分の出身でありながら新見藩儒丸川松隠に学び、江戸で佐藤一斎に学んだ。その後松山藩校有終館の学頭となったが、藩主板倉勝静のもとで藩政の中心に抜擢され、財政や兵制等の改革に取り組み成果を上げた。また、勝静が老中に就任すると、顧問となり幕政にも携わった。明治維新後は、私塾や再興した閑谷学校などで多くの子弟を教え、地域や日本の近代化に貢献する人材を輩出した。今回の展覧会では、方谷自筆の書簡や漢詩の他関連する資料等から、方谷の業績を紹介するとともにその思想に迫る。また、方谷に影響を受けた三島中洲や河井継之助等多くの門人たちや、佐久間象山ら親交のあった人々を紹介する。
主要展示資料	山田方谷書状(三島中洲宛) 江戸時代 二松学舎大学蔵 佐藤一斎肖像 江戸時代 東京国立博物館蔵 「資治通鑑」(備中松山藩校有終館蔵書) 江戸時代 高梁市蔵(県指定重要文化財)
関連行事等	①特別講座「山田方谷」 第1回 6月1日 「山田方谷と河井継之助(仮題)」 第2回 6月15日 「高弟三島中洲の見た山田方谷(仮題)」 ②展示解説
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	企画展 「岡山の城と戦国武将」 同時開催「正子公也戦国武将画展」
期間	平成26年7月31日(木)～9月7日(日)
趣旨	岡山県内の主要な城跡を取り上げ、最新の発掘調査や歴史研究の成果とともに、関連する武将や合戦についての歴史資料を展示し、地域の歴史を物語る貴重な文化財である城の魅力を紹介する。あわせて、岡山県出身で歴史・武将イラストの第一人者である正子公也氏が描いた戦国武将画を展示して、幅広い世代が歴史に親しんでもらう機会とする。
主要展示資料	岡山城出土品 安土桃山時代 岡山市教育委員会蔵 天神山城出土品 安土桃山時代 和気町教育委員会蔵 刀 源兵衛尉祐定(浦上宗景注文打) 室町時代 個人蔵
関連行事等	①「岡山の城と戦国武将」特別講座 <全3回> ②「歴史体験★岡山城を探検しよう！」 <子ども対象> ③博物館クイズラリー <子ども対象> ④学芸員による展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (1室使用)

事業名	池田綱政300回忌記念事業 特別展 「護国山曹源寺」		
期間	平成26年10月10日(金)～11月16日(日)		
趣旨	<p>岡山市中区円山にある曹源寺(山号:護国山)は、岡山藩主池田綱政が曾祖父池田恒興と父、池田光政の冥福を祈るため、池田氏の菩提寺として元禄11(1698)年に建立した。曹源寺には歴代藩主の直筆の写経や和歌、絵画や書跡・典籍など膨大な文化財が所蔵されている。</p> <p>平成26年は曹源寺を建立した池田綱政の300回忌にあたることから、曹源寺の寺宝を一堂に集め、その歴史や池田氏との関わりを紹介する。</p>		
主要展示資料	開山絶外和尚頂	元禄9(1696)年	曹源寺蔵
	護国山曹源寺境内図	宝永5(1708)年	曹源寺蔵(市指定重要文化財)
	十六羅漢像	江戸時代前期	曹源寺蔵
	池田家藩主肖像彫刻(全6軀)	江戸時代	曹源寺蔵
関連行事等	<p>①特別講座「曹源寺」</p> <p>第1回 10月19日「禅の心(仮題)」、第2回 10月26日「岡山藩主池田綱政と曹源寺(仮題)」</p> <p>第3回 11月2日「近世の仏教美術と曹源寺(仮題)」</p> <p>②ウォークラリー『曹源寺の文化財を訪ねる(仮)』 11月9日</p> <p>③展示解説</p> <p>※実行委員会形式で実施</p>		
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用)		

事業名	交流展 岡山・高知文化交流事業「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」(仮題)		
期間	平成27年1月16日(金)～2月16日(日)		
趣旨	高知・岡山の両県に伝わる考古・歴史・民俗・美術等の文化財を貸借・展示し、歴史や文化を相互に紹介する。最終年は、土佐の長宗我部氏と備前の宇喜多氏を取りあげる。それぞれの地域で強大な戦国大名となり、豊臣政権を経て関ヶ原の戦いで勢力を失う両者を比較し、またその接点を紹介する。		
主要展示資料	網本著色長宗我部元親像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(重要文化財)
	長宗我部元親坐像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(県指定重要文化財)
	宇喜多能家画像	室町時代	岡山県立博物館蔵(重要文化財)
	紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足	室町時代	瀬戸内市 大賀島寺蔵(県指定重要文化財)
関連行事等	<p>①記念講演会 1月24日 ②ボランティアによる展示ガイド 1月11日、25日、2月1日</p> <p>③展示解説</p>		
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)		

平成 26 年度 予 算 (案)

[ 県 費 ]

[ 歳 入 ]

(単位：千円)

財 源 内 訳	26年度	25年度	増 減	備 考
使用料及び手数料	5,108	4,725	383	入館料、講堂使用料
諸 収 入	380	380	0	博物館講座受講料
一 般 財 源	66,916	65,533	1,383	
合 計	72,404	70,638	1,766	

[ 歳 出 ]

(単位：千円)

項 目 名	26年度	25年度	増 減	備 考
①展覧会事業	15,411	15,936	▲ 525	
<内訳>				
・企画展(1回)、平常展	3,926	4,938	▲ 1,012	
・特 別 展(2回)	8,248	8,080	168	
・高知県との交流展	3,237	2,918	319	
②教育普及事業	1,408	1,380	28	
<内訳>				
・文化遺産映像記録作成事業	1,028	1,000	28	
・博物館講座	380	380	0	
③資料購入費(修繕費)	524	473	51	
④博物館協議会	324	324	0	
⑤維持管理費	54,737	52,525	2,212	
合 計	72,404	70,638	1,766	

[ 岡山県教育職員互助組合の助成 ] <予定>

(単位：千円)

項 目 名	26年度	25年度	増 減	備 考
吉備の国ジュニア歴史スクール	1,225	1,225	0	
ジュニア学芸員講座	300	300	0	
合 計	1,525	1,525	0	

[ 護国山曹源寺展実行委員会 ] <予定>

(単位：千円)

項 目 名	26年度	25年度	増 減	備 考
曹源寺に親しむ会負担金	3,000	0	3,000	
合 計	3,000	0	3,000	

長期展覧会計画(案)

企画展

特別展

交遊展(他会場)

2 室

4 室

26	2014	岡山の城と戦国武将		池田綱政300回忌記念事業 護国山曹源寺	山田方谷	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 高知の歴史と文化Ⅲ(共同企画) 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 戦国大名 長宗我部氏と宇喜多氏
27	2015	経王山本蓮寺	発掘された日本列島	備前焼	祈る —吉備のまつり—	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅰ 「鳥取藩池田家32万石」	
28	2016	織りの技と美 —小倉織・綿・絹—	照光山安養寺	吉備の古墳	吉備の群像	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅱ 「古代伯耆・因幡の世界」	(岡山の歴史と文化) ('備前焼・備前刀')
29	2017	ほとけのひみつ	岡山の絵馬	銘金山金山寺	真金吹く吉備 —鉄くろろがね)の美—	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅲ 「鳥取藩の絵師」	「池田光政 鳥取開府400年」
30	2018	岡山の地理学者 —古松軒と浅五郎—	岡山の鉄道	境界と領域 藩・国・郡・村の意識	桃山の美	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅰ)	(中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化Ⅰ)

(4) サービス向上への取組及び中期目標の改訂について

ア サービス向上への取り組み

<b>展示活動</b>	
1 正月の臨時開館 平成26年1月1日(水)～4日(土)	
◇元旦は入館料無料とし、正月にふさわしい展示内容を工夫した。	
◇国宝2点の特別展示を行った。	
◇後樂園の入園者を誘導し、元旦は後樂園入館者の約2割が博物館へ入館した。	
◇高知県との交流展を開催し、合わせて土佐和紙、土佐民具の販売を行った。	
◇海洋堂ホビー館四万十の協力により、四国の動物等のガチャガチャ(おもちゃの販売機)を設置した。また、指定管理者がお菓子の釣り堀を行った。	
2 新規の寄託・寄附資料の速やかな展示	
◇japan展において、9月に寄贈された備中漆4作品を展示した。	
<b>学校教育との連携(教育普及事業)</b>	
1 新規事業「ジュニア学芸員講座」を開催した。	8月
2 初任者研修での館蔵資料を活用した体験授業の実施した。	1月23日、30日
3 おかやま教育支援活動メニューフェアへ参加し学校関係者に博物館の利用を紹介した。	8月、倉敷市真備
<b>広報活動</b>	
1 24年度に作製した映像資料をホームページで公開した	4月開始
2 フェイスブックを活用したホームページを新たに開設した	11月開始
<b>その他 (利用環境、アクセスの充実)</b>	
1 空調機を更新し、快適な観覧環境を整備した。	6月から稼働
2 ももちゃり10台分ののブースを設置した。	7月末設置

## イ 岡山県立博物館中期目標の改訂について

現行の岡山県立博物館中期目標は、平成25年度を目標年度に策定されたものである。毎年度の達成状況及び自己評価については、翌年度の博物館協議会において随時項目の見直しを行ってきたところである。本年度が目標設定期間の最終年度にあたるため、これまでの実績や自己評価を踏まえながら改定のための見直しを行っている。

### ① 見直しの観点

現行の中期目標をベースに各項目の見直しを行う。

- ・実施済み項目の削除（エレベータの設置、トイレの改修等）
- ・新規事業の追加、休廃止事業の削除
- ・評価点としてふさわしくない項目の削除または目標表記の変更  
（例：資料購入点数：現状の財政状況から数値目標の設定は困難、  
寄贈点数：寄贈者の意思に対応するものであり数値目標の設定は不適）
- ・目標達成度を考慮した適切な数値目標の設定

### ② 改定のスケジュール（案）

- ・職員全員による評価項目の点検―――25年11月～26年1月（実施済）
- ・見直し項目の取りまとめ―――26年2月（実施済）
- ・25年度実績の確定及び自己評価―――26年4月
- ・改定版中期目標原案作成、主管課協議――26年5月
- ・協議会委員への原案配布及び意見集約――26年6月
- ・改訂版中期目標の策定・実施―――26年7月

【平成25年度岡山県指定重要文化財の指定】

種 別	名称・員数	所有者・所在地	説 明
1 重要文化財 建造物	<p>にょほうじ むりやうじゆいんほんどう 如法寺無量寿院本堂 1棟</p> <p>附明和5年棟札 1枚</p>	<p>宗教法人無量寿院 岡山市東区広谷</p>	<p>中世の極めて質の高い折上小組格天井を残す、18世紀後期建立の本堂。 明和5(1768)年に建立された本堂は、内陣に中世の極めて質の高い折上小組格天井を残している点に大きな特徴がある。また、須弥壇と厨子は17世紀前期の良質の作であり、古い部分を生かしながら維持する、日本建築の伝統をよく示す重要な遺構である。</p>
2 重要文化財 考古資料	<p>なかやまい せきしゆつ ど とくしゆつぽおよ 中山遺跡出土特殊壺及 び特殊器台 11個体</p>	<p>真庭市 真庭市下皆部 (真庭市北房支局)</p>	<p>吉備の墳墓祭祀を特徴付ける、特殊壺と特殊器台。 中山遺跡からは、特殊壺や特殊器台等が出土し、特殊器台のうち1個体が完全に復元された。この個体は、最古型式である立坂型の器形と文様構成を知ることができる貴重な資料である。また、他の個体には立坂型以降の型式も含まれており、祭祀が繰り返されたことを示す点でも重要である。</p>
3 重要文化財 歴史資料	<p>かもがたはん ほうしや 鴨方藩の砲車 1両</p>	<p>宗教法人大浦神社 岡山市北区後楽園 (岡山県立博物館)</p>	<p>全国的にも珍しい、江戸時代末期から明治時代初期製造の砲車。 大浦神社に伝来した砲車は、江戸時代末期から明治時代初期に製造され、鴨方藩が所有していたもので、搭載されていた砲身は失われている。しかし、この時期に製造された砲車が保存されている例は全国的にも珍しく、鴨方藩の歴史や当時の政治情勢を物語る歴史的資料として貴重である。</p>
4 重要有形民 俗文化財	<p>わかみやちまんぐう ほうのう え ま およ 若宮八幡宮奉納絵馬及 び模型和船 24面、1艘</p>	<p>宗教法人若宮八幡宮 瀬戸内市邑久町尻海(若宮八幡宮) 岡山市北区後楽園 (岡山県立博物館)</p>	<p>江戸時代における瀬戸内海廻船業の繁栄を伝える奉納絵馬と模型和船。 若宮八幡宮は、江戸時代廻船業で栄えた尻海地区にあり、同所の廻船問屋などが奉納した絵馬や模型和船が残されている。絵馬には、海と関わりを示すものなど多種多様な画題のものがあり、質・量とも県下有数の内容であるとともに、尻海地区のかつての繁栄を物語る資料として高く評価される。</p>

※県指定文化財件数 既指定458件 今回指定4件 合計462件

## 16 文化の振興、文化財の保存・活用

### ポイント

文化財に関する調査・研究や、文化財の適切な保存・修理を推進するとともに、県立博物館における活用を努めるなど、文化財に触れ、学び、親しむ機会の充実を図ります。

### 39 文化財の保存・活用

(単位：千円)

事業名	内 容	予算額
再発見！ふるさとの山城－岡山県中世城館跡総合調査－	県内の中世城館跡の保護・活用に資するため、総合的に現地調査・文献調査を実施する。 ・平成25・26年度調査予定箇所 備前地域 約470箇所	4,890
埋蔵文化財公開活用事業	埋蔵文化財の普及・啓発を行う。 ・古代吉備文化財センター30周年記念シンポジウム「三世紀の吉備を読み解く(仮題)」 ・子ども体験教室 鏡の铸造体験 ・津島やよいまつり 火起こし、勾玉づくり 他	2,828
郷土の文化遺産再発見事業	岡山ゆかりの人物、岡山県下の歴史事象に関する文化財をテーマ別に紹介するガイドブックを発行する。 テーマ(例)高松城水攻めの旧跡、弥生時代の岡山 他	5,420
岡山県民俗芸能大会	国文祭の成果の継承や、後継者の育成等を図るため、県内の民俗芸能団体による発表大会を開催する。	700
文化財保護保存事業	国・県指定文化財の保存修理等に要する経費の一部を補助する。 井上家住宅保存修理 木山神社本殿保存修理 他	73,889
新文化財等救済ネットワーク運営	大学・博物館・関係団体・市町村等と連携し、災害発生時に県内文化財等の救済などの活動を行うため、文化財等救済ネットワークを設置し、人材育成に向けた研修会を行う。	188
吉備の国文化遺産映像記録作成事業	館内授業・出前授業にも活用できる、収蔵資料を中心に各時代を象徴する岡山ならではの歴史・文化遺産を紹介する映像資料を作成する。	1,028
吉備の国ジュニア歴史スクール	小学生を対象にテーマ別の見学コースを巡り、文化財への理解・関心を深める。 (文化財めぐり → 博物館内授業 → 学校での出前授業)	—
博物館活動、岡山・高知文化交流事業	【企画展】 ・「岡山の城と戦国武将」 (H26. 7. 31~9. 7) 実施中の中世城館跡総合調査と連携して、岡山の城に関する最新の調査研究成果や関連する歴史資料を紹介する。 【特別展】 ・「山田方谷」 (H26. 5. 23~6. 29) 幕末の備前松山藩を支えた山田方谷の思想や生き方、方谷を取り巻く時代背景や親交のあった人々を紹介する。 ・池田綱政300回忌記念事業「護国山曹源寺」 (H26. 10. 10~11. 16) 池田家の菩提寺である曹源寺の寺宝を一堂に集め、その歴史や池田氏との関わりを紹介する。 【交流展】 ・「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」 (H27. 1. 16~2. 15) 戦国大名として活躍した両者を比較し、その接点を紹介する。	15,791

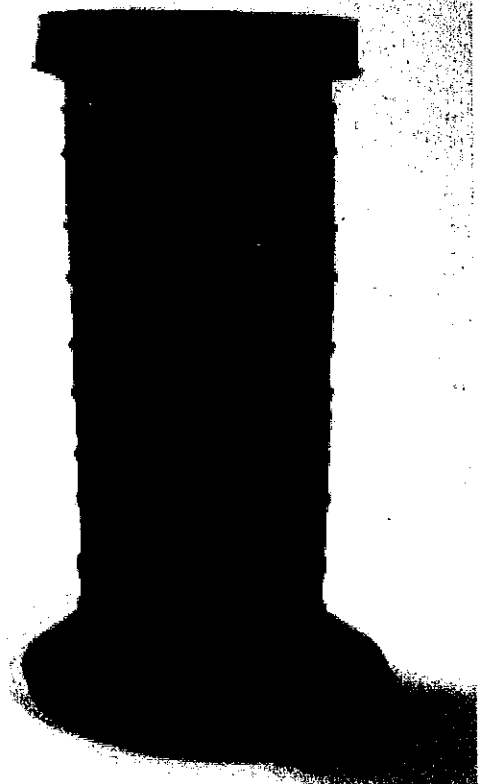




1 如法寺無量寿院本堂

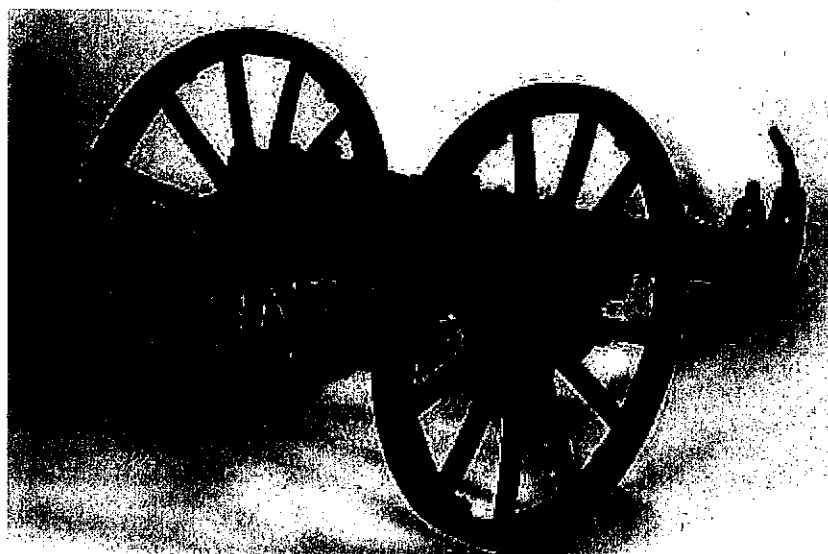


特殊壺



特殊器台

2 中山遺跡出土特殊壺及び特殊器台



3 鴨方藩の砲車



絵馬 尻海古景図



宝廣丸模型

4 若宮八幡宮奉納絵馬及び模型和船

## 岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成25年2月5日～平成27年2月4日）

平成25年7月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	小森 順子	学校教育関係者	岡山市立石井小学校長	H23. 7	
2	市 坡 よし子	"	倉敷市立玉島西中学校長	H24. 7	
3	松 下 晶子	"	岡山県立笠岡高等学校長	H25. 7	
4	丸 池 宣子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会副会長	H25. 2	
5	岡 本 啓	"	岡山県生涯学習センター所長	H25. 7	
6	延 江 典子	"	岡山県青年団協議会副会長	H25. 2	
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21. 2	
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21. 2	
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株)山方永寿堂代表取締役社長	H23. 2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科准教授	H23. 2	
11	松 木 武 彦	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	H25. 2	
12	吉 本 正 志 (号) 正	"	日本工芸会中国支部副幹事長	H23. 2	
13	高 谷 万知子	"	山陽放送(株)編成業務局メディア企画部参事	H17. 2	
14	江 見 肇	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H19.10	
15	原 田 唯 良	"	岡山県議会議員	H24. 7	

## 職 員 一 覧

### 教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	谷 名 隆 治	

### 岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	田 村 啓 介	
副 館 長	三 宅 克 広	(学芸課長事務取扱)
総 括 参 事	片 山 明 浩	(総務課長事務取扱)
総 務 課	主 任	瀧 元 弘 美
	主 任	藤 原 雅 彦
	主 事	清 水 美 緒
学 芸 課	学芸員(副参事)	信 江 啓 子
	副 参 事	竹 原 伸 之
	主 任	内 池 英 樹
	学芸員(主任)	佐 藤 寛 介
	学芸員(主任)	重 根 弘 和
	学芸員(主任)	和 田 剛